

みずほCustomer Desk Report 2022/10/25号(As of 2022/10/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	148.90 AUD/USD
TKY 9:00AM	147.70	0.9861	145.74	1.1337	0.6371
SYD-NY High	149.70	0.9899	147.23	1.1402	0.6410
SYD-NY Low	145.28	0.9807	143.85	1.1259	0.6273
NY 5:00 PM	149.04	0.9875	147.23	1.1283	0.6313

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,499.62	417.06	日本2年債	0.0000%	0.0100%
NASDAQ	10,952.61	92.89	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,797.34	44.59	米国2年債	4.5079%	0.0270%
日経平均	26,974.90	84.32	米国5年債	4.3645%	0.0179%
TOPIX	1,887.19	5.21	米国10年債	4.2456%	0.0278%
シカゴ日経先物	27,145.00	45.00	独10年債	2.3425%	▲0.0905%
ロンドンFT	7,013.99	44.26	英10年債	3.7415%	▲0.2835%
DAX	12,931.45	200.55	豪10年債	4.1630%	▲0.0410%
ハンセン指数	15,180.69	▲ 1,030.43	USDJPY 1M Vol	14.53%	▲1.17%
上海総合	2,977.56	▲ 61.37	USDJPY 3M Vol	13.49%	▲0.90%
NY金	1,654.10	▲ 2.20	USDJPY 6M Vol	12.83%	▲0.85%
WTI	84.58	▲ 0.47	USDJPY 1M 25RR	▲1.78%	Yen Call Over
CRB指数	271.82	▲ 0.54	EURJPY 3M Vol	13.68%	▲0.61%
ドルインデックス	111.99	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	13.47%	▲0.55%

東京	東京時間のドル円は、本邦当局による円買い介入の噂が広がる中、オープン前に円買いが強まり145円台前半まで急落後、ドルが買い戻されながら147.70レベルでオープン。仲値近辺でもドルが買われ、ドル円は149円近辺まで値を戻すも、その後は時間外米長期金利が低下し、円買い介入への警戒感も高まる中、同水準でこう着状態が続き、148.93レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.93レベルでオープン。149.45円まで上昇するも、介入警戒感がくすぶる中148.28円まで売られる場面も。結局ほぼ変わらずの149.02レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.1361レベルでオープン。英新首相がスナク氏に決まるという期待感からポンドは立ち上がり1.1367まで買われる。しかし英10月の景況感が軒並み予想を下回るとポンドは1.1275まで下落。少し戻して1.1314レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で介入警戒から145.28まで急落する局面もあったが、先週金曜に大きく低下した米金利が下げ渋る展開に149.45まで戻し、NYオープン直前にも148.28まで急落する等荒い値動きが続き、149.02レベルでNYオープン。日銀の介入は非日系のファンダメンタルが主な標的との報道もあり、149.10付近での推移が暫く続く中、米10月製造業、サービス業PMI共に予想と景気の分岐と言われる50を下回ったことからドル売りが優勢となり、ドル円は148.67まで下落する。その後はイレイン米財務相が日本から為替介入の情報は聞いていないと話したことが伝わり、米紙が30人の下院リベラル派のグループがバイデン大統領に対しウクライナ戦争に関する戦略を劇的に変更し、ロシアと直接交渉を追求するよう求めた書簡が届けられると報じられるものの、ドル円の反応は限定的で149.00手前での推移が続く。149.04レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場で米金利上昇を受けたドル買いが優勢になったことから一時0.9807まで下落し、0.9837レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、米PMI結果を受けたドル売りに0.9893まで戻す。しかし0.99を上抜けできず、その後は0.9870付近での推移が続く。0.9875レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・多川

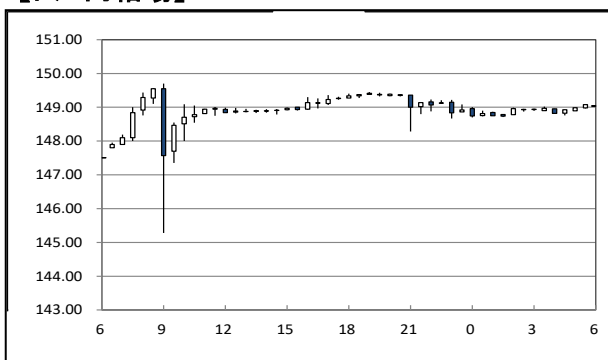
【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
10月24日	10:30	中	GDP(前年比)	3Q 3.9%	3.3%
	10:30	中	貿易収支	9月 \$84.74b	\$80.30b
	17:00	欧	製造業PMI速報	10月 46.6	47.9
		欧	サービス業PMI速報	10月 48.2	48.2
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	9月 0.10	-0.10
	22:45	米	製造業PMI速報	10月 49.9	51.0
		米	サービス業PMI速報	10月 46.6	49.5

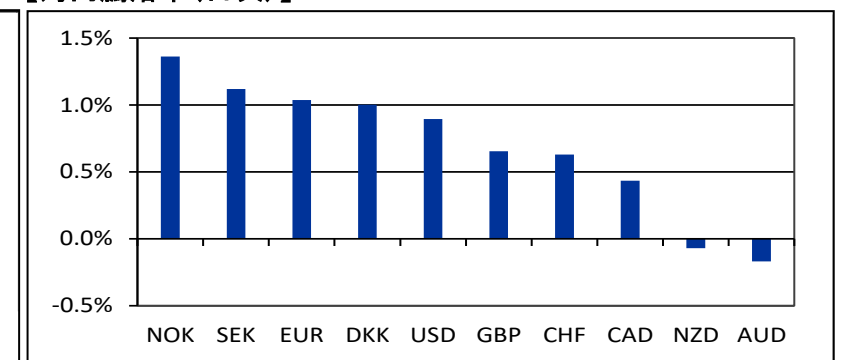
【本日の予定】

Date	Time	独	Event	予想	前回
10月25日	17:00	独	IFO企業景況感指数	10月 83.5	84.3
	23:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	10月 106.0	108.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.00-151.00	0.9800-0.9950	146.00-148.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇圧力継続も上値の重い展開。アジア時間については、147円台後半でオープン後、じりじりと上昇する展開となるも、日銀による為替介入と思しき動きに、ドル円は145円台前半まで急落。その後、急速に値を戻す動きなど、値動きの荒い局面を見せた。相場が徐々に落ち着きを取り戻す中、海外時間入り米10月製造業PMIが市場予想対比劣後する結果となると、一時的に148円台前半までドル売りの流れとなるも、ダイレクションを変えるほどの勢いに乏しく、結局149円台入りにてクローズした。本日のドル円は、上値の重い神経質な展開を想定。大局的なドル高圧力の是正には未だ乏しく、上昇圧力継続の見方は維持する一方、先週金曜日・昨日による日銀からの為替介入の警戒感もあり、目先は上値重く推移しつつ、局所的にボラティリティの高い相場付きになる可能性も想定され、150円近辺では神経質な値動きとなろう。